

## ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

### 1. 担当者

### 2. 学校概要

学校名 大阪府立能勢高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒563-0122

大阪府豊能郡能勢町上田尻580

E-mail : nose-hs@sbox.pref.osaka.lg.jp

Website : http://www.osaka-c.ed.jp/nose

児童生徒数：男子 118名 女子 72名 合計 190名

児童・生徒の年齢 16歳～18歳

### 3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解  
 持続発展教育 (ESD)  国際理解  世界遺産  平和・人権  環境  気候変動  
 生物多様性  エネルギー  防災  食育  伝統文化  その他 (  グリーンツーリズム )  
 その他 ( )

#### 4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

I. 1年次生「産業社会と人間」2, 3年次生「総合的な学習の時間」

・環境学習、国際理解学習、人権学習、福祉学習、グリーンツーリズム学習、地域学習

①外部講師による講演とワークショップ

②本校留学生、元本校留学生（在日大学生）による異文化理解講座

講師（協力団体）：大学教員、国際交流協会職員、市民ボランティア、地域諸施設職員、JICA、海外研修生、NGOなど。

II. 校外学習

2年次でJICA兵庫訪問：元協力隊員講演、JICA活動理解、異文化理解

III. 文化祭でのチャリティー活動・・・NGO2団体とタイアップ

「モンゴルジェンダーセンター 支援」

「東日本大震災・フィリピンマングローブ林植林 支援」

IV. 留学生の受け入れ

長期留学生1名を受け入れ、本校生徒同様の学校生活。

町民ボランティア複数による日本語指導。町民によるホームステイの受け入れ。

町内小中学校での国際交流授業に派遣。地域での交流活動に参加。

学校だけでなく、地域の国際交流に貢献。

V. 外部での生徒によるプレゼンテーション

本校のESD、ユネスコスクール教育活動について、学校外の各発表大会において、プレゼンテーションを行い、関係者に広報活動を行った。また、地域住民に、学習内容を伝達した。

VI. 平成23年度 文部科学省ユネスコパートナーシップ事業

「アジア／太平洋 小・中・高・大学生ESDワークショップ、2011」

2011年8月18日（木）～20日（土）

開催地ホストスクール。地域文化の発信（地域とのタイアップ）。

海外参加者の地域でのホームステイ受け入れ。生徒の参加。

VII. ユネスコセミナー2011 in OSAKA

「ESDワークショップ、2011」での活躍を受けて、セミナーにて、以後の活動を発表。

VIII. 「東日本大震災被災地への応援メッセージ」

ユネスコバンコク事務所を通して、「応援メッセージ」を作成、発信。



以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ  
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)
  - ・マレーシア修学旅行の準備として、交流高校（毎年同じ学校）生徒、教員とのメールのやり取り（情報交換、異文化理解）
  - ・オーストラリア国際交流研修（任意参加）の相手校生徒とのメールのやり取り、研修後の相互訪問。本校訪問時には、授業で活用。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な 10 年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の 10 年など)